

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

神奈川県横浜市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I未訓ガ	救臨が被災地
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
3,737,845	42,124	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

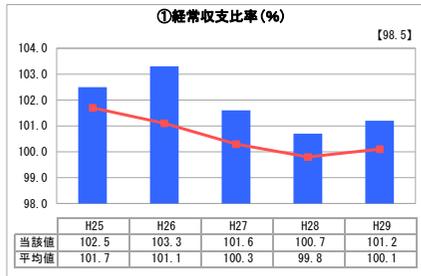
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
624	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	26	650
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
624	-	624

グラフ凡例

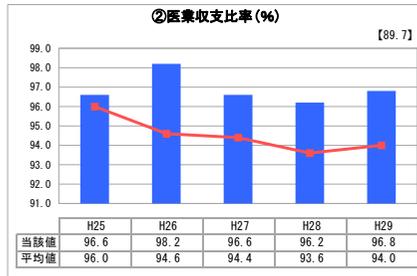
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】 平成29年度全国平均

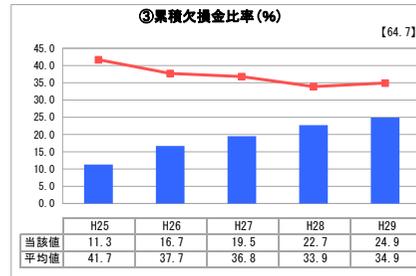
## 1. 経営の健全性・効率性



「経常損益」



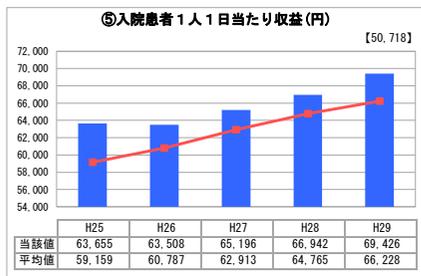
「医業損益」



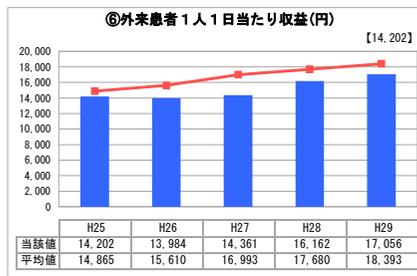
「累積欠損」



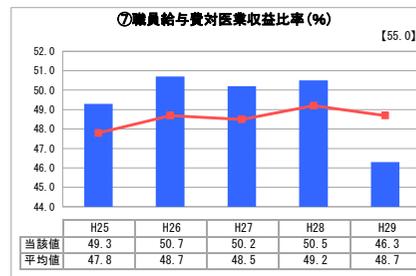
「施設の効率性」



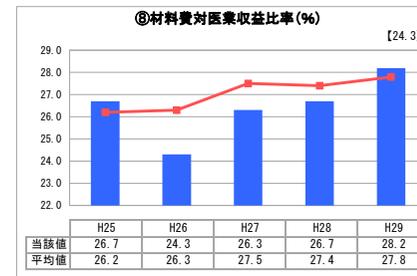
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

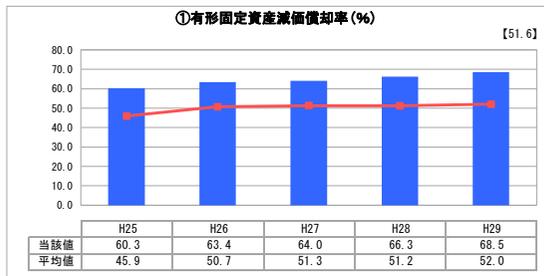


「費用の効率性①」

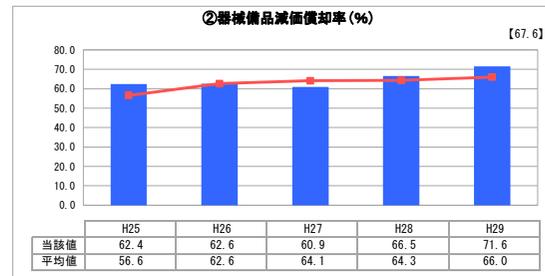


「費用の効率性②」

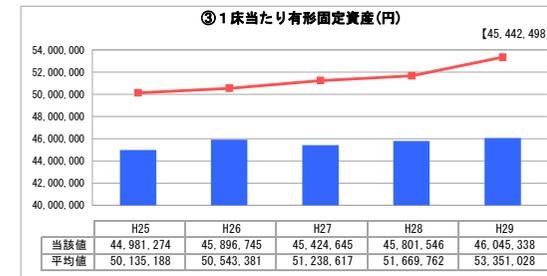
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

高度急性期を中心とした総合病院であり、「がん」「救急」「周産期」「感染症」「災害医療」等、地域から必要とされる政策的医療等に積極的に取り組み、地域の基幹病院としての役割を果たします。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

医療機能の向上と経営改善の取組を進め、9年連続で経常黒字を達成しています。提供する医療の高度化に伴い、診療単価が上昇していますが、合わせて材料費率も高まっています。そのため、今後も引き続き、一層の医療の効率化や経費の適正化を図ること、将来に渡って安定した経営基盤を確立していきます。

### 2. 老朽化の状況について

昭和35年の開院以降、医療需要の多様化や医療の進歩に対応し、医療機能の充実や施設の増改築を行ってきました。その結果、施設の狭隘化や老朽化が著しいため、再整備事業を行うこととしており、平成32年5月の開院に向け準備を進めています。

### 全体総括

今後も一層の医療機能の充実を進めることで新入院患者を確保し、収益力を向上させるほか、材料費等の経費の適正化を図ることなどにより、新病院開院を見据え、持続可能な経営を確保します。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。